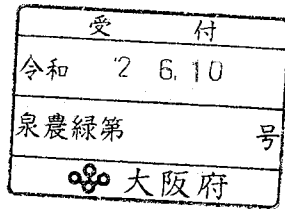


産業廃棄物処理計画書

令和2年 6月 10日

大阪府知事 殿

(大阪府泉州農と緑の総合事務所長 様)



提出者

住 所 大阪府大阪市中央区道修町4-5-13

藤本化学製品株式会社

氏 名 代表取締役 藤本 和将

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6222-0147

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	藤本化学製品株式会社 泉北工場
事業場の所在地	大阪府泉大津市臨海町1-24
計画期間	令和2年年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16:化学工業
②事業の規模	製造品出荷額：64億4280万円
③従業員数	101人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙2～4の通り

産業廃棄物の処理に関する事項 (管理体制等) 別添1の通り		産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
		①現状					②計画					
		【前年度(1年度)実績】					【目標】					
		排出量	排出率	削減率	削減率	削減率	削減率	削減率	削減率	削減率	削減率	
①現状	<p>産業廃棄物の種類 廃アルカリ</p> <p>排出量 706.43 t</p> <p>排出率 1164.07 t</p> <p>(これまでに実施した取組)                      ・排水処理設備から発生する汚水を脱水、乾燥して減量した。                      ・排水処理設備から発生する汚水を中和槽の濃度を上げ発生量を抑制した。(廃アルカリ)                      ・中和槽の濃度から発生する下水汚泥を自社内排水処理設備にて上澄み水の処理を行い発生を抑制する。(下水汚泥)</p>	有機性汚泥A	706.43 t				有機性汚泥A	1040 t				1000 t
②計画	<p>産業廃棄物の種類 廃アルカリ</p> <p>排出量 1040 t</p> <p>(今後取組する予定の取組)                      ・上記に加え、下記の取組を実施予定。                      ・特になし</p>	有機性汚泥B	3 t				有機性汚泥A	1040 t				1000 t
①現状	<p>産業廃棄物の分別に関する事項</p> <p>・汚泥、廃プラスチック、廃アルカリ、炭酸、管理用総合廃棄物、木くずはそれぞれ分別、保管をしている。</p>	有機性汚泥B	2.56 t				有機性汚泥B	3 t				3 t
②計画	<p>産業廃棄物の分別に関する事項</p> <p>・汚泥、廃プラスチック、廃アルカリ、炭酸、管理用総合廃棄物、木くずはそれぞれ分別、保管をしている。</p>	有機性汚泥B	2.56 t				有機性汚泥B	3 t				3 t
①現状	<p>産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</p> <p>・汚泥、廃プラスチック、管理用総合廃棄物、木くず</p>	炭酸	10.69 t				炭酸	20 t				20 t
②計画	<p>産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</p> <p>・汚泥、廃プラスチック、管理用総合廃棄物、木くず</p>	炭酸	10.69 t				炭酸	20 t				20 t
①現状	<p>産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</p> <p>・木くず</p>	廃プラスチック	4.57 t				廃プラスチック	6 t				6 t
②計画	<p>産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</p> <p>・木くず</p>	廃プラスチック	4.57 t				廃プラスチック	6 t				6 t
①現状	<p>産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</p> <p>・無機性汚泥</p>	無機性汚泥	0.44 t				無機性汚泥	1 t				1 t
②計画	<p>産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</p> <p>・無機性汚泥</p>	無機性汚泥	0.44 t				無機性汚泥	1 t				1 t
①現状	<p>産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</p> <p>・下水汚泥</p>	下水汚泥	4.00 t				下水汚泥	10 t				10 t
②計画	<p>産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</p> <p>・下水汚泥</p>	下水汚泥	4.00 t				下水汚泥	10 t				10 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	①現状							②計画								
	有機性汚泥B	廃機	管理用混合廃棄物	脱プラスチック	木くず	金属くず	廃溶剤	有機性汚泥B	廃機	管理用混合廃棄物	脱プラスチック	木くず	金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥
①現状	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	①現状							②計画								
	有機性汚泥B	廃機	管理用混合廃棄物	脱プラスチック	木くず	金属くず	廃溶剤	有機性汚泥B	廃機	管理用混合廃棄物	脱プラスチック	木くず	金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥
①現状	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

①現状	①現状							②計画								
	有機性汚泥B	廃機	管理用混合廃棄物	脱プラスチック	木くず	金属くず	廃溶剤	有機性汚泥B	廃機	管理用混合廃棄物	脱プラスチック	木くず	金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥
①現状	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	5 t

【前年度（1年度）実績】

産業廃棄物の種類 廃アルカリ 有機性汚泥A

自ら再生利用を行う産業廃棄物の数量 0 t

自ら中間処理により再生した産業廃棄物の数量 682.82 t

再生した産業廃棄物の名称（4項目）

- ・有機性汚泥を脱水乾燥することにより焼成化を行っている。
- ・排水処理設備の定期的な保守を行い排水、処理効率は維持した。
- ・油類の溜りにより発生する下水汚泥の上澄み水を自社の活性汚泥処理で処理し減量する。

【前年度（1年度）実績】

産業廃棄物の種類 廃アルカリ 有機性汚泥A

自ら再生利用を行う産業廃棄物の数量 0 t

自ら中間処理により再生した産業廃棄物の数量 965 t

再生した産業廃棄物の名称（4項目）

- ・焼成し
- ・特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項  
 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項  
 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状  
 ①現状  
 ①現状

【現状】	①現状				②計画				
	有機性汚泥A	有機性汚泥B	無機性汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥
産業廃棄物の種類 廃アルカリ	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 （今後実施する予定の数量） ・実施していない	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
【計画】	②計画				②計画				
産業廃棄物の種類 廃アルカリ	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 （今後実施する予定の数量） ・予定なし	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項  
 産業廃棄物の処理の委託に関する事項  
 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状  
 ①現状  
 ①現状

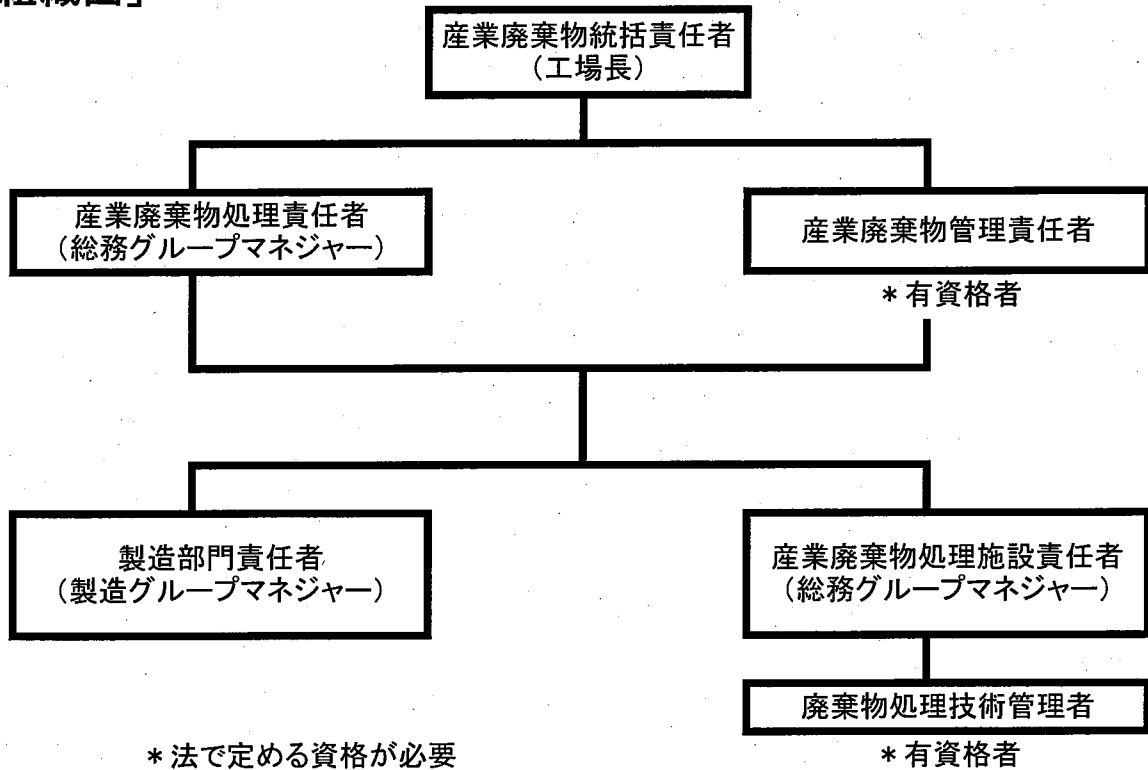
【現状】	①現状				②計画				
	有機性汚泥A	有機性汚泥B	無機性汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥
全処理委託量	1164.07 t	2.55 t	10.69 t	21.90 t	4.57 t	9.10 t	3.96 t	0.44 t	4 t
優良処理委託業者への処理委託量	33.25 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	21.8 t	2.60 t	9.10 t	3.96 t	0 t	0 t
認定回収業者以外の委託を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
（このうち委託先が「取引先」である委託業者の委託委託先を委託委託先と見做すことができる産業廃棄物業者を特定しており、定期的に処理状況の照会確認を行っている。）	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（このうち委託先が「取引先」である委託業者の委託委託先を委託委託先と見做すことができる産業廃棄物業者を特定しており、定期的に処理状況の照会確認を行っている。）

【目標】	②計画		③計画						④現状						⑤現状			
	汚染廃棄物の種類	処理量	処理量	有機性汚泥B	廃酸	管理型混合廃棄物	焼アスチック	木くず	金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	有機性汚泥A	処理量	処理量	処理量	処理量	処理量
②計画	全処理委託量	1040 t	34 t	20 t	3 t	20 t	20 t	6 t	10 t	2 t	1 t	10 t	5 t					
	優良認定処理業者への処理委託量	90 t	15 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	20 t	4 t	10 t	2 t	0 t	0 t	0 t					
	認定無印廃棄物への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					
	認定無印廃棄物以外の無印廃棄物への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					
③計画			(今後実施する予定の取組) ・委託処理業者に対しては、引き続き定期的な処理状況の現地確認を行う。															
※汚染処理量																		

# 「社内組織図」

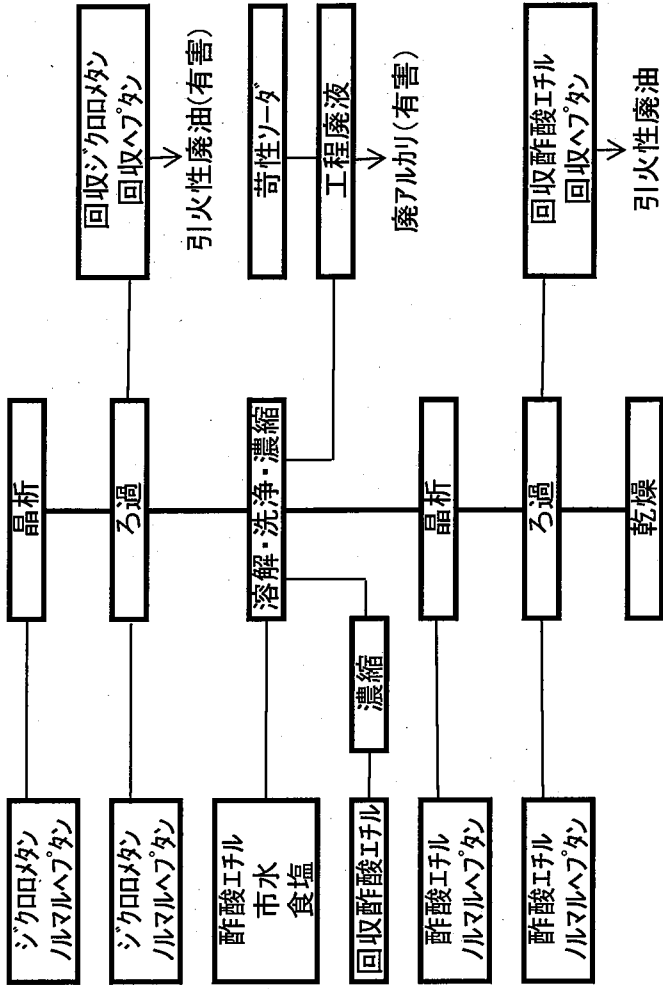
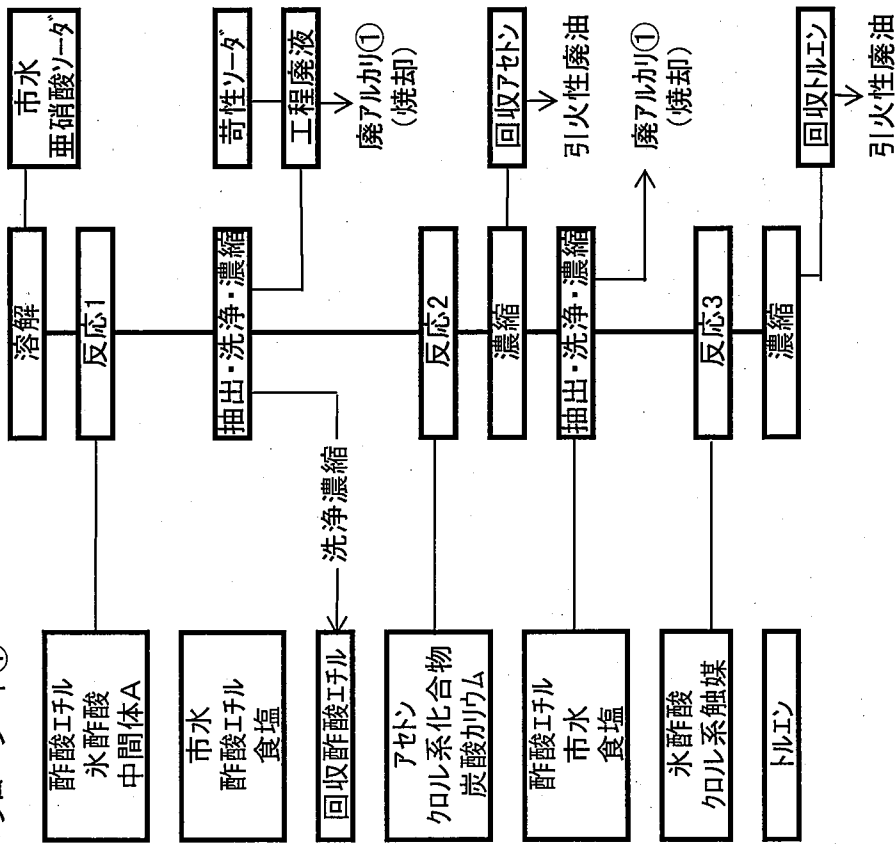
別紙1



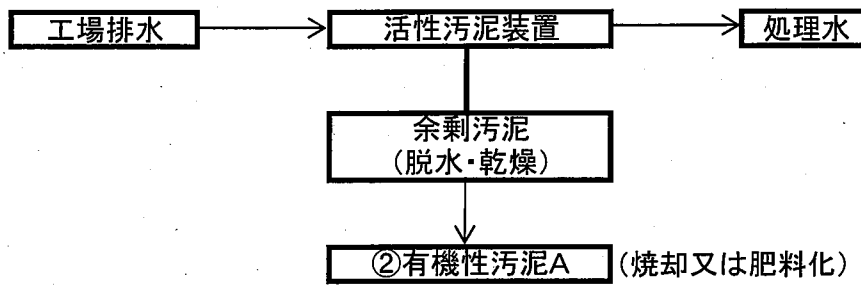
## 「責任者及び管理者の責務」

責任者及び管理者名	責任者及び管理者の責務
産業廃棄物統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の適正管理及び減量化、資源化等に関する社内啓発</li> <li>処理業者委託の委託契約</li> </ul>
産業廃棄物処理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>統括責任者の命を受け、各責任者を監督、指導する。</li> <li>行政に対する報告</li> <li>産業廃棄物の委託先の調査</li> <li>産業廃棄物の処理費用の調査</li> <li>排出先の定期視察</li> <li>委託伝票(マニフェスト)の管理</li> <li>委託業者の作業指示と監督</li> </ul>
製造部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生する廃棄物の種類、性状及び量の把握</li> <li>各保管施設の点検と維持管理</li> <li>廃棄物発生量の帳簿作成</li> <li>廃棄物の減量化・再資源化の調査</li> </ul>
産業廃棄物処理施設責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転操作員の指揮監督</li> <li>処理の運転日報・月報の作成と保管</li> </ul>
廃棄物処理技術管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>処理施設の運転、維持管理</li> </ul>

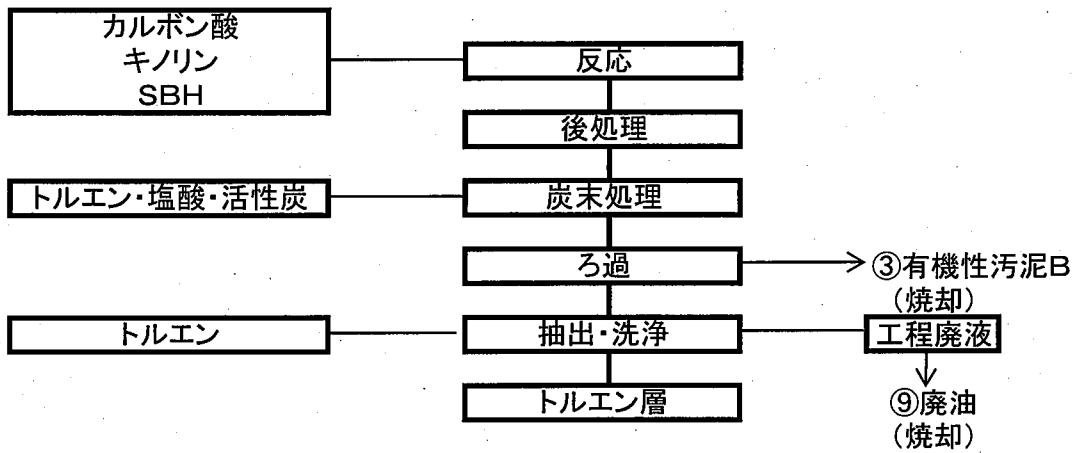
フローシート①



フローシート②



フローシート③⑨



フローシート③⑩

